

青梅市の公の施設指定管理者評価シート

令和6 年度実施分

施設名	青梅市自立センター		
指定管理者名	社会福祉法人 青梅市社会福祉事業団		
指定管理期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日	担当課	障がい福祉課
設置目的	心身に障害がある者に対し、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう必要な支援を行い、障害者の福祉の増進を図ることを目的とする。		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目		評価内容	評価方法	指定管理者 評価	評価理由	市評価	評価理由
管理 状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	理事会・評議員会 法人指導監査 第三者委員	A	年度協定や支援事業計画に則り、利用者様へのサービス提供に努めている。また、施設管理についても法令に沿って適切に行っている。	A	年度協定や支援事業計画に沿って、適切に管理されている。
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	事業報告 月次報告	B	月次報告の他、担当課との会議で状況報告を行っている。支援事業報告については遅れが生じており対応中である。	B	諸事情により遅れた事実はあった。
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	警備保障会社による警備体制 施設設備の点検・メンテナンスの実施	A	敷地内へは出入り自由であるが、防犯カメラの設置や機械警備システムを導入している。また、日々の施設の際に建物の異常がないかのチェックを行っている。建物の設備についても、専門業者の点検を定期的に実施している。	A	警備保障会社による警備体制や防犯カメラにより、安全性の確保と心理的効果も含め、防犯の一助となったと考える。
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	現地調査 事業団例規集 書類や記録媒体の保管	A	共通場所での保管をしている。個人情報については鍵付き、目隠し保管。法人検査での指摘事項及び書類保管方法等についても随時行っている。個人情報保護に関して、職員から誓約書を取り徹底している。	A	個人情報の書類については鍵のかかる場所に保管することをはじめ、適正に管理されている。
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	業務日誌 支援記録	A	共通場所での保管をしている。個人情報については鍵付、目隠し保管をしている。持出し禁止対応をしている。	A	業務等の記録、個別支援計画書の記録は適切に作成・保管している。
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	自衛消防隊を編成。 業務継続計画	A	防災計画書に基づき対応している。独自の備蓄品確保している。BCPを作成している。	A	防災管理委員会、自衛消防隊により、災害時の体制は整っている。また共通マニュアルも作成している。
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等を行っているか。	自衛消防訓練	A	隔月に利用者様参加で自衛消防訓練を実施している。都度消防署への実施申請と助言をいただいている。	A	隔月で自主防災訓練を実施し、消防署との連携も取れている。
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	監事による決算 監査	A	適切に管理・把握に努めている	A	指定管理者として、適切な財務運営や建物管理を行っている。
事業 効果 等	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	事業計画書 中期経営計画 検討委員会	A	5年ごとに作成する中期経営計画の2年目であり、支援事業計画に反映され達成されている。	A	概ね事業計画どおりのサービスが提供されている。
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因を考慮)	年間行事等計画	A	感染症対策のため、行事等の変更を行ってきたが、昨年度より更に前進をした。	A	感染症対策を含め、コロナ禍以降の時勢に合わせて行事の変更・再開により、例年と同水準に戻りつつある。
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	満足度調査等の実施。第三者委員の活動実施。	A	毎年、利用者満足度調査、嗜好調査を実施している。第三者委員による活動では、概ねの評価を得ている。	A	アンケート結果による対応は図られている。
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	満足度調査等の実施。第三者委員の活動実施。	A	毎年、利用者満足度調査、嗜好調査を実施している。第三者委員による活動での評価をしている。就労は利用者放談会を実施した。	A	毎年アンケート調査を実施している。また、就労については利用者の放談会を実施している。
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	満足度調査等の実施。第三者委員の活動実施。	A	毎年、利用者満足度調査、嗜好調査を実施している。第三者委員による活動での評価をしている。事業所ごとの苦情対応をした。	A	アンケート結果による対応は図られている。
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	理事会・評議員会の開催。市担当課との合同会議の実施。	A	契約が青梅市のため、常に連携をとっている。制度の変更の際や、細かい点についても都度の確認を行っている。	A	理事会、評議委員会、合同会議の定期的実施がされている。
	その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	提案事業の実施	A	以前の提案事項であった相談支援事業所の運営を継続している。	A	提案事業である相談支援事業所の継続運営を実施している。
	会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	監事による決算 監査 法人指導監査	A	決算監査において良好であると評価をうけた。	A
管理		現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	法人指導係による指導検査	A	現金については毎日確認を行っている。金庫の鍵についても適正に管理している。	A	現金、金庫の鍵は適切に管理されている。

収 支 状 況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。 予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	監事による決算 監査	A	事業活動資金収支差額は黒字となっており、予算と決算の相違についても確認し把握するよう努めている。	A	適切に運営しており、赤字決算に陥っていない。
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	監事による決算 監査	A	事業活動計算書における自立センターの経常利益率は約5%となっており、赤字決算になっていない。	A	適切に運営しており、赤字決算に陥っていない。
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	監事による決算 監査	A	借入金はなく、自己資本比率は約72%となっている。	A	適切に運営しており、借入金に依存していない。
		流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。	監事による決算 監査	A	流動比率は約115%となっており、事業継続の安全性には問題ない。	A	適切に運営しており、事業継続の安全性には不安がない。

1. 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数	<p>記入欄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自での遂行が難しいため、引き続き青梅市(窓口は障がい者福祉課)と連携を図り日々を送っている。 ・設備等の老朽化等について、青梅市と確認しながら優先順位の高いものから修繕等を行っている状況である。6年度は就労棟への高圧受変電設備工事が施行された。 ・高齢化に伴う対応について、研修を活用した専門性の向上と、環境面での備品設置など更なる対応が必要となっている。 ・事業所運営において、生活介護事業所では支援員の欠員が出ているため、引き続き採用に向け取り組んでいく。 ・定年延長制度が導入されることもあり、職員の年齢別の構成の変化が今後大きくなることが予想される。効率的かつ質の高い業務体系を確立し、利用者様に喜ばれるサービス提供ができる運営を目指していく。 ・生活介護事業所では新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの集団感染が発生し、受け入れ停止の対応を取った。運営において感染症の影響が出ないよう、衛生・健康管理に努めていく。
S	0	
A	20	
B	1	
C	0	

2. 市の評価、意見等

評点	数	<p>記入欄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青梅市自立センターの指定管理者として、第5期目となる令和6年度から5年間の新たな指定管理を開始している。指定管理者としては協定書等を守り、仕様書に沿った管理を実施している。 ・建物については、設備等かなり老朽化が進行している中でも円滑な管理運営がなされており、事業報告書、利用状況報告等の各種報告事項や、施設設備の保守等についても、適切な管理が行われている。老朽化に伴う修繕等については、その都度市と協議し優先順位が高いものから行っている。今後も指定管理者と協議しながら利用者の安全に配慮していきたい。 ・高齢化に伴う対応について、各事業所にOJTリーダーを配置や研修を活用した専門性の向上専門性を図っていただきたい。設備面については、老朽化に伴う修繕等と合わせ、指定管理者と協議し優先順位が高いものから実施していきたい。 ・支援員の欠員については、事業所の安定運営にも大きく影響を及ぼす部分であるので、引き続き採用に向け取り組んでいただきたい。 ・感染防止対策は現在も継続している。引き続き対策について状況を確認しつつ衛生・健康管理に努めていただきたい。
S	0	
A	20	
B	1	
C	0	